

4 調査、研究報告及び資料・情報等の発行

(1) 公刊した報告書等

報告書名	発行年月	備考
平成 26 年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告	平成 28 年 5 月	
平成 27 年度地方独立行政法人青森県産業技術センター水産部門事業概要年報	平成 28 年 5 月	
平成 27 年度漁海況予報関係事業結果報告書	平成 28 年 5 月	
平成 27 年度定線観測結果表	平成 28 年 5 月	
平成 27 年度イカ類漁場開発調査資料第 41 号及び外洋性イカ（スルメイカ、アカイカ）に関する基礎調査資料	平成 28 年 6 月	
青森県産業技術センター水産部門研究報告第 10 号	平成 29 年 3 月	
未来につなぐ資源管理 2017	平成 29 年 3 月	青森県と共同発行

(2) 提供情報

情報名	期間及び回数
ウオダス漁海況速報 No. 1910～1945	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 (36 回、号外 35 回)
ホタテガイ採苗速報 No. 621～638	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 (18 回)
貝毒発生状況等速報	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 (32 回)
陸奥湾海況情報 No. 1080～1131	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 (52 回)
陸奥湾の水温（東奥日報紙）	平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月（毎日）
陸奥湾湾口海域のイカナゴ幼魚（コウナゴ）分布調査結果について	平成 28 年 6 月, 平成 29 年 3 月 (2 回)
ホタテガイ養殖管理情報	平成 28 年 7 月～平成 28 年 12 月 (5 回)
平成 28 年ヒラメ稚魚分布密度調査結果について	平成 28 年 9 月（太平洋、日本海各 1 回）
イカナゴ類夏眠場調査の結果について	平成 28 年 10 月
平成 28 年漁期のハタハタ漁獲対象資源量の予測結果について	平成 28 年 10 月, 11 月 (2 回)
付着生物（ユウレイボヤ等）ラーバ情報	平成 28 年 10 月～平成 29 年 3 月 (12 回)
2016 年漁期におけるヤリイカ冬季来遊群の漁況予測結果	平成 28 年 12 月 (1 回)

(3) 青森県水産研究情報 水と漁

発行番号	発行年月
第 22 号	平成 28 年 6 月
第 23 号	平成 28 年 12 月
第 24 号	平成 29 年 3 月

(4) 発表論文等

① 学会等での発表

- 1) 吉田達: 新たな視点から津軽海峡の水産の未来を描く (青森県陸奥湾のホタテガイ養殖の現状と課題). 第46回北洋研究シンポジウム. (2016.4)
- 2) 竹谷裕平・小坂善信・奈良賢静・中村靖人・佐藤慶之介: 津軽海峡周辺海域におけるキアンコウの生態・資源と高付加価値化. 第46回北洋研究シンポジウム. (2016.4)
- 3) 柴田淳也, 富山毅, 坂井陽一, 青山潤, 田中千香也・柴田淳也・富山毅・坂井陽一・青山潤・田中千香也・吉永龍起・河野悌昌・高橋正知・中村行延・竹谷裕平・中井智司・奥田哲士・西嶋 渉: 日本沿岸におけるイカナゴの遺伝的集団構造. 平成28年度日本水産学会秋季大会. (2016.9)
- 4) 竹谷裕平: 青森県周辺海域におけるキアンコウの食性と栄養状態. 平成28年度日本水産学会北海道・東北支部合同大会. (2016.10)
- 5) 杉浦大介: 陸奥湾産アサリの貝殻断面における透明帯形成周期について. 平成28年度日本水産学会北海道・東北支部合同大会. (2016.10)
- 6) 小谷健二: 陸奥湾におけるホタテガイ天然採苗の現状と取り組み. 東北ブロック水産業関係研究開発会議 増養殖分科会資源環境・資源管理・資源生産合同部会. (2016.11)
- 7) 三浦太智: 陸奥湾における近年のマダラ漁獲動向変動について. 平成28年度東北ブロック底魚研究連絡会議. (2017.2)
- 8) 伊藤欣吾: 青森県におけるウスメバルの成長・成熟・VPA. 平成28年度日本海ブロック資源評価担当者会議. (2017.2)
- 9) 西川水晶・境 磨・鈴木伸明・和田由香・藤岡 崇・東海 正: 津軽海峡周辺におけるクロマグロの漁業実態. 平成29年度日本水産学会春季大会. (2017.3)
- 10) 工藤誠也・大宮慧子・三浦太智・渡邊泉・東信行: 軟組織微量元素を用いたマダラ陸奥湾産卵群の来遊源推定. 平成29年度日本水産学会春季大会. (2017.3)
- 11) 三浦太智・工藤誠也・白井厚太郎・杉原奈央子・東信行: 耳石微量元素による青森周辺海域におけるマダラの移動履歴推定. 平成29年度日本水産学会春季大会. (2017.3)
- 12) 長野晃輔・山村織生・桜井泰憲・三浦太智・伊藤靖・後藤友明: 小型ミズダコが脱出可能なタコ籠の開発と操業現場での有用性の検証. 平成29年度日本水産学会春季大会. (2017.3)
- 13) 杉浦大介: 野辺地川河口におけるアサリの分布形成過程. 日本水産学会春季大会. (2017.3)

② その他の投稿

- 1) 秋山清二・和田由香・山中智之・伊藤欣吾・他: 定置網に入網したクロマグロ小型魚の放流技術の開発について. ていち, 130, 59-67. (2016)
- 2) Chikaya Tanaka, Ryota Aoki, Hitoshi Ida, Jun Aoyama, Yuhei Takeya, Masakatsu Inada, Naofumi Uzaki, Tatsuki Yoshinaga: Molecular genetic identification of Japanese sand lances using mitochondrial DNA cytochrome c oxidase subunit 1 restriction fragment length polymorphisms. Fisheries Science, 82(6), 887-895. (2016)
- 3) 竹谷裕平: 津軽海峡周辺海域におけるキアンコウの資源個体数推定. 東北底魚研究, 36, 2-4. (2016)
- 4) 三浦太智: VPAによる青森県のハタハタ来遊量予測について. 日本海ブロック資源評価担当者会議報告(平成27年度), 9-10. (2016)

- 5) 伊藤欣吾：青森県におけるヤナギムシガレイ新規加入量調査の資源量指標値としての有効性. 日本海ブロック資源評価担当者会議報告（平成 27 年度），21-22.（2016）
- 6) 佐藤晋一：津軽海峡における流況調査. 第 71 回日本海海洋調査技術連絡会総会議事録（CD-R），資料 6-3.（2017. 2）
- 7) 高坂祐樹・扇田いずみ・鈴木敏之：下痢性貝毒蛍光 HPLC 法による陸奥湾ホタテガイのモニタリング. 日本水産学会誌，83(2)，222.（2017. 3）
- 8) 野呂恭成：津軽海峡に分布するマダコの生態，青森県産業技術センター水産総合研究所研究報告，10，8-26.（2017. 3）
- 9) 伊藤欣吾・鈴木 亮：飼育ウスメバル稚魚の耳石輪紋，青森県産業技術センター水産総合研究所研究報告，10，27-30.（2017. 3）
- 10) 杉浦大介：青森県中南部太平洋沿岸におけるウバガイ（ホッキガイ）の年齢と成長，青森県産業技術センター水産総合研究所研究報告，10，1-7.（2017. 3）
- 11) 今村豊：青森県太平洋海域における春季の TS ダイアグラムの特徴について. 平成 28 年度東北ブロック水産海洋連絡会報，47，5-6.（2017. 3）

5 青森県における公設水産研究機関の変遷

